

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-18529

⑬ Int. Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)2月22日

G 03 B 21/58

7709-2H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 考案の名称 スクリーン収納装置の昇降機構

⑯ 実 願 平1-79769

⑰ 出 願 平1(1989)7月5日

⑱ 考 案 者 中 野 弘 則 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社
内

⑲ 出 願 人 シャープ株式会社 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

⑳ 代 理 人 弁理士 鈴木 ハルミ

㉑ 実用新案登録請求の範囲

屈曲可能に連結され、少なくとも一端が取付金具に枢着された上下対のアームを左右に配し、該アームの連結を屈曲・伸展させることにより支持したスクリーンを昇降するようにしたスクリーン収納装置の昇降機構において、左右のアームの先端を重合可能に突出させると共に、その突出部分にアームと平行に長孔を形成し、該アームが枢着される取付金具には、その中央部に縦孔を設け、該縦孔に上記左右アームの長孔を挿通した軸を摺動可能に取り付けることにより、左右のアームを連動させ、スクリーンを水平に昇降させるようにしたことを特徴とするスクリーン収納装置の昇降機構。

図面の簡単な説明

第1図乃至第4図は、本考案の実施例を示し、第1図は、要部の縦断面図、第2図は、要部の横断面図、第3図は、要部の分解斜視図、第4図は、スクリーン収納装置の正面図である。第5図と第6図は、スクリーン収納装置の従来例を示し、第5図は、スクリーン張設状態、第6図は、スクリーン収納動作状態を示す。

A……スクリーン、B……筐体、1, 2, 3, 4……アーム、3a, 4a……長孔、3b, 4b……軸穴、5……保持パイプ、6, 12……取付金具、6a, 12a……縦孔、6b, 6c……取付孔、7, 8……ガススプリング、9, 13……軸、10, 11, 14, 15……枢軸。

図1図

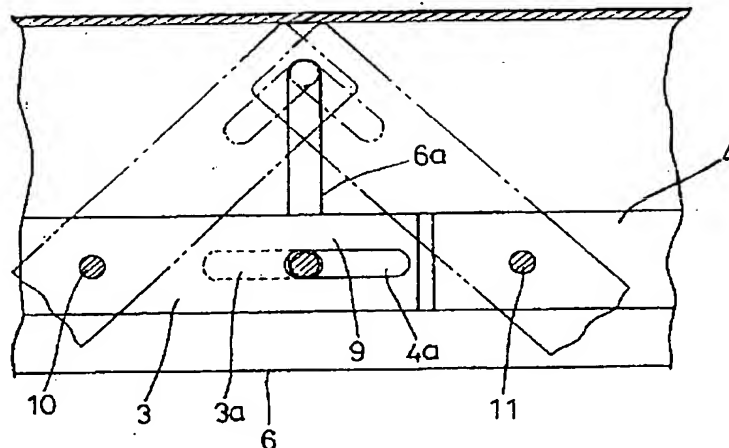


図 2

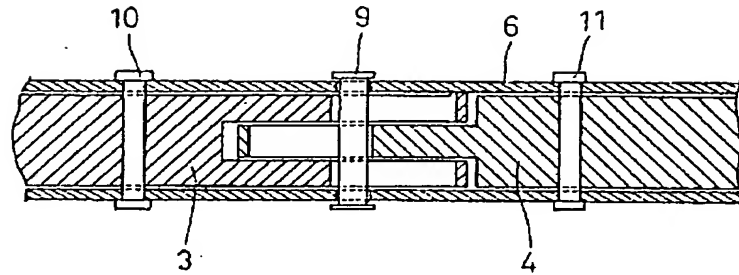


図 3

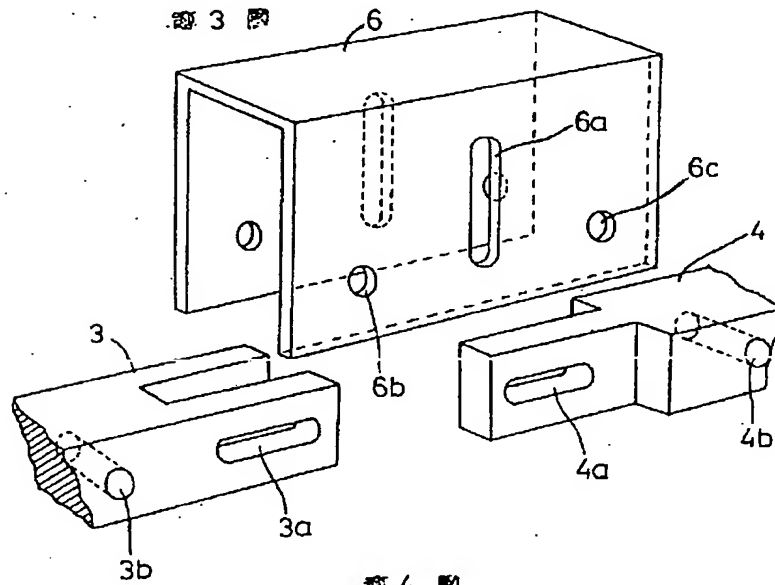


図 4

